

## 「八幡平市における CCRC に関する研究」

宮城好郎、狩野徹、吉田清子、白石雅紀（東京未来大学）、館山壮一（岩手県立大学院博士後期課程）

### <要旨>

本研究では、「オークフィールド八幡平」（CCRC 事業）を対象にして、八幡平市における CCRC に関するあり方を検討するための予備的な考察を行った。また、より多角的な考察を行うため先行研究による CCRC の整理に加え、他地域の参考事例として秋田県藤里町の取り組みの検証を行った。結論として、CCRC 事業は、高齢者がやりがい・生きがいや健康を得て、それが同時に地域の再生につながるような、まちづくりの視点を持って行う必要があり、それを「八幡平型 CCRC」モデルとして推進することが肝要であるとして、事業側に大学との連携を通じた CCRC 事業の導入のための方策や課題等の提案を行った。

### 1 研究の概要

本研究は、「オークフィールド八幡平」（CCRC 事業）を対象にして、八幡平市における CCRC (Continuing Care Retirement Community) に関するあり方を検討するための予備的な考察を行った。また、CCRC に関するあり方を多角的に考察するため、先行研究より CCRC 形態とコンパクトシティ構想の整理を行い、他地域の参考事例として秋田県藤里町の取り組みの検証を行った。

### 2 研究の内容

本研究ではまず CCRC について先行研究の整理を行った。また、他地域の参考事例として秋田県藤里町社会福祉協議会の取り組みについて、現地にて聞き取り調査等を行い、CCRC に関するあり方の検討を行った。続いて八幡平市で CCRC を展開している「オークフィールド八幡平」に対して複数回、現地で聞き取り調査を行い CCRC 事業の検討と大学との連携について考察を行った。

### 3 これまで得られた研究の成果

CCRC では活動的な高齢者を積極的にサポートし、「やりがい」や「いきがい」をもとにした能動的な健康寿命の延伸を目指していること、アメリカでは約 2,000 ヲ所の CCRC に 70 万人以上の高齢者が移り住んでいること、居住者は地域や大学を通じた知的刺激、世代間交流によって人生に新たな目標を見出し、活動的で有意義な日々を送っていること等が分かった。政府も、CCRC を地方創生の柱と位置づけているなか、新しいコンセプトの「高齢者向け住宅」を中心とした CCRC に注目が集

まっていることも分かった。本学とのオークフィールド八幡平との連携を通じた生涯学習の可能性について検討した。具体的には、ICT を活用した講義の導入による CCRC の居住高齢者や八幡平市の地域住民が大学の講義を受講しながら、あるいは自ら講義をするなど、本学学生と双方向でディスカッションできる仕組みを検討した。具体には、Skype をはじめとした動画付き音声通話システムの可能性、現地には学生らからなるサポートスタッフを配置するなど、学生との交流事業につなげていくこと等についても考察した。

さらに、日本版「CCRC」は、政府では「生涯活躍のまち」という政策名称になっているため、「生涯活躍のまち」のまちづくりを推進している先進事例「秋田県藤里町」について勉強会・現地踏査・ヒアリング調査を行った。CCRC 事業は、高齢者がやりがい・生きがいや健康を得て、それが同時に地域の再生につながるような、まちづくりの視点で行う必要がある。「八幡平型 CCRC」モデルとして推進するにあたり「藤里モデル」が有用であることを示した。さらに、コンパクトシティの観点からも、八幡平型 CCRC を構想していく必要性があることも示した。

### 4 今後の具体的な展開

研究成果を踏まえ、大学との連携を通じた CCRC 事業の導入のための方策や課題等を事業者側に提案することができた。よって今後とも当該研究を通じ、提案の具現化と CCRC 事業導入による八幡平市の地域活性化を支援していく予定である。